

## I 原著論文(学会誌・学術論文)

SN	著者	題	雑誌	vol	No.	pp	年	月
1	川越 厚, 佐藤智	在宅死した癌患者の剖検所見 その臨床的意義 The Autopsy Findings of Cancer Patients who Died at Home.	日本癌治療学会誌	28	3	619-625	1993	3
2	川越 厚	肺癌患者の在宅ホスピスケア	日本癌治療学会誌	30	4	636-646	1995	
3	川越 厚	在宅ホスピスにおける死の教育	カリキュラム研究		4	29-42	1995	3
4	川越 厚	末期がん在宅ケアにおける消化管閉塞への対処	緩和医療	4	2	11-12	1995	
5	川越 厚	医療技術の進歩と在宅医療	第34回人工臓器学会大会 予稿集	125	s-17		1996	
6	難波寿子, 松岡 恵, 川越 厚	母親が新生児が泣く理由を判断する要因の経日的変化	母性衛生	38	4	382-388	1997	12
7	川越 厚	在宅ホスピスケアとチーム医療-薬剤師の役割	日本薬剤師会雑誌	51	4	111-117	1999	4
8	川越 厚	出産をめぐる診療システム-産科医の立場から-	東京母性衛生学会誌	15	1	28-30	1999	3
9	川越 厚	ターミナルケア医療	日本産科婦人科学会雑誌	51	9	219-222	1999	9
10	Hiroki Kawagoe and Koh Kawagoe	Death Education in Home Hospice Care in Japan.	Journal of Palliative Care	16	3	37-45	2000	
11	川越 厚, 松浦志のぶ	在宅ホスピス, 緩和ケア実施医療機関情報のデータベース化	癌と化学療法	29	Suppl III	564-564	2002	
12	川越 厚, 松浦志のぶ, 遠藤美由紀	在宅末期がん患者の疼痛緩和-フェンタニルパッチの有用性-	日本プライマリ・ケア学会 誌	27	3	165-171	2004	9
13	川越 厚	豊かな生を支えたもの-「場」別に遺族の報告を聴く-	死の臨床	27	1	24-25	2004	9
14	野村恭子, 矢野栄二, 三丸剛人, 川越厚	医学教育における在宅終末期医療実習	医学教育	36	4	243-247	2005	8
15	伊藤美緒子, 松浦志の ぶ, 川越厚	事例検討「ひとり暮らしでも家で過ごしたい-独居の肺がん患者の 在宅ホスピスケア-」	死の臨床	29	2	171	2006	
16	石川ひろの・柏木聖 代・福井小紀子・松浦 志のぶ・川越 厚	在宅がん末期患者のケアにおける訪問看護師と医師との連携に関 する研究	日本プライマリ・ケア学会 誌	30	3	242-247	2007	9
17	川越 厚	在宅での看取り-末期がん患者の在宅ホスピスケア-	癌と化学療法	34		251-253	2007	12
18	Hirono Ishikawa, Koh Kawagoe, Masayo Kashiwagi, Eiji Yano	Nurse-Physician Collaboration in Pain Management for Terminally Ill Cancer Patients Treated at Home in Japan	Journal of Palliative Care	23	4	255-261	2007	

## I 原著論文 (学会誌・学術論文)

SN	著者	題	雑誌	vol	No.	pp	年	月
19	川越 厚、松浦志のぶ、 染谷康子、大金ひろみ	ケア期間からみた在宅ホスピスケアの問題-短期間(7日間)で終了する末期がん患者の在宅ケア-	癌と化学療法	35	Suppl I	16-18	2008	12
20	川越 厚、松浦志のぶ	モルヒネ持続クモ膜下注入による疼痛緩和-在宅で疼痛緩和を行った症例の報告-	癌と化学療法	35	Suppl I	88-90	2008	12
21	川越 厚	在宅での疼痛緩和の現状と課題	癌と化学療法	36	Suppl I	1-4	2009	6
22	田實武弥、松浦志のぶ、 川越 厚	肺がん患者の在宅ホスピス緩和ケア	癌と化学療法	36	Suppl I	81-83	2009	6
23	Izumi Kawagoe, Mioko Ito, Shinobu Matsuura, Koh Kawagoe	Home Hospice Care for the Lung Cancer Patient Living Alone: A case report from Japan	Journal of Palliative Care	25	4	289-293	2009	12
24	川越 厚	在宅での疼痛緩和の現状と課題	癌と化学療法	36	Suppl I	1-4	2009	12
25	川越 厚	在宅医療と薬局薬剤師の連携の在り方	日本薬剤師会雑誌	62	3	329-331	2010	3
26	川越 厚、松浦志のぶ	血液がん患者の在宅ホスピス緩和ケア	癌と化学療法	37	Suppl I	249-252	2010	12
27	Maki Hachizuka I, Kazuhiro Yoshiuchi, Yoshiharu Yamamoto, Satoru Iwase, Keiichi Nakagawa, Koh Kawagoe, Akira Akabayashi	Development of a personal digital assistant (PDA) system to collect symptom information from home hospice patients	Journal of Palliative Medicine	13	4	647-651	2010	
28	川越 厚、松浦志のぶ、 西田茂史	婦人科がん患者の在宅ホスピス緩和ケア	癌と化学療法	38	Suppl I	70-72	2011	12
29	西田茂史、松浦志のぶ、 川越 厚	泌尿器科がん患者の在宅ホスピス緩和ケア	癌と化学療法	38	Suppl I	73-75	2011	12
30	川越 厚	在宅緩和ケアに必要なチームアプローチ	東京都医師会雑誌	64	7	12・25-29	2011	8
31	廣岡佳代、渡邊美也子、 川越 厚	在宅ホスピスケアにおける統合失調症を有する家族への支援	癌と化学療法	40	8	1123-1126	2013	8
32	川越 厚	在宅緩和ケアの推進と課題「地域緩和ケアにおける薬剤師の役割」	社会薬学	32	Suppl.	51	2013	10
33	川越 厚、松浦志のぶ	事例検討「超大量経口麻薬を長期間服用し在宅死した50歳代乳がん患者のQOL-オキシコドン徐放剤1,440mgを5年間服用」	死の臨床	45	1	105-106	2023	7